

分野 2

責任ある金融の推進

本分野では、持続可能性を考慮した責任ある投融資を実施するとともに、農林水産業の基盤となる全国地域での金融サービスの展開・維持に努めます。
また、持続可能なエネルギーの利活用を目指した事業活動を実施します。

課題		中期目標
課題 2-1	サステナブル・ファイナンスの推進	環境・社会・ガバナンスに配慮した責任ある投融資を通じて、持続的な社会の実現に貢献する。
課題 2-2	持続可能なエネルギー利活用への貢献	持続可能なエネルギーの利活用推進に貢献する。
課題 2-3	誰も取り残さない金融の実現	国内過疎地域や経済的弱者を含めすべての人々が遍く金融サービスを受けられる社会の実現に貢献する。

主な取組み

- 環境・社会課題解決に向けた責任ある投融資の実践
- 再生可能エネルギーの需要拡大を踏まえた金融サービス提供
- JA バンク移動店舗車、ネットバンク等多様なチャネルを通じた全国津々浦々での金融アクセス向上

関連する SDGs



サステナブル・ファイナンスの推進

投融資基本方針

当金庫は、農林中央金庫法第一条にある基本的使命とともに、農林水産業の専門金融機関として、農林水産業やその関連産業の振興、地域社会の活性化等に資するという使命をあわせ持っています。

これらの使命を遂行するための基本原則として、「投融資基本方針」を定めています。

この基本方針は、金融システムの一翼を担うものとしての公共性と社会的責任を強く認識し、コンプライアンスの観点、当金庫の倫理憲章やリスクマネジメント基本方針、そしてサステナブル経営実現の指針となる環境方針・人権方針を踏まえて定めたものです。

当金庫は、業務運営において「投融資基本方針」を遵守していくことが、重要な社会的責務であると認識しています。

健全な投融資の展開

当金庫は、基本的使命およびその役割を十分に理解し、社会的規範に反することのない、誠実かつ公正な投融資を行います。そのため、投融資の実施時点のみならず、その後の状況変化に対するアカウンタビリティも重視し、健全な業務運営に徹することとしています。

また、「コンプライアンス・マニュアル」では、役職員の行動規範として、積極的に業務を遂行しながらも業務の健全性を常に意識し、投融資等の目標設定や計画が過大なものにならないよう明文化しています。

投融資セクター方針

詳細はP21をご覧ください。

赤道原則（エクエーター原則）への取組み

赤道原則（エクエーター原則）は、金融機関が大規模な開発プロジェクトへ融資する際、当該プロジェクトが自然環境や地域社会に対して適切な配慮がなされているかを確認するための民間金融機関の枠組みであり、プロジェクトファイナンス分野において環境・社会リスクを特定、評価、管理する方法として広く適用されています。

当金庫は、世の中の環境・社会問題への意識の高まりや金融機関に対する社会的要請を踏まえ、より一層持続的な環境維持への配慮を実現する観点から、2017年5月、赤道原則を採択しました。

具体的には、投融資基本方針のもとに、赤道原則基本方針および赤道原則管理要領を制定のうえ、赤道原則の適合性を確認する専任者を配置し、プロジェクトのカテゴリーに応じて求められる環境・社会に対する配慮をお客さまに要請していきます。



プロジェクトのカテゴリー定義

カテゴリー	定義
A	環境・社会に対して重大な負の潜在的リスク、または、影響を及ぼす可能性があり、そのリスクと影響が多様、回復不能、または前例がないプロジェクト
B	環境・社会に対して限定的な潜在的リスク、または、影響を及ぼす可能性があり、そのリスクと影響の発生件数が少なく、概してその立地に限定され、多くの場合は回復可能であり、かつ緩和策によって容易に対処可能なプロジェクト
C	環境・社会に対しての負のリスク、または、影響が最小限、または全くないプロジェクト

世界銀行が発行する サステナブル・ディベロップメント債への投資

当金庫では、世界的課題となっているフードロス問題への対応を推進する世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行、IBRD）の取組みに賛同し、同行が発行するサステナブル・ディベロップメント債へ 1150 百万米ドルの投資を実施しました。本投資は、開発途上国のフードロス問題をはじめとした各種課題の解決のみならず、温室効果ガスの排出削減を通じた気候変動対策にも貢献するものです。また、国際分散投資を通じた安定的な収益の確保に資するとともに、サステナブル経営の理念にも合致するものと考えています。

ESG テーマ型 J-REIT 運用商品の開発・投資

当金庫は、農林中金全共連アセットマネジメント(株)（以下、NZAM）とともに、銘柄選定プロセスにGRESB^{※1}リアルエステイトを活用した J-REIT^{※2}に特化した運用商品を共同で開発し、当金庫から 100 億円の投資を行いました。本商品は、環境や健康、快適性に配慮した ESG に積極的に取り組む J-REIT を高く評価するのみならず、グリーンビルディングの普及拡大に貢献し、ひいては温室効果ガスの排出削減を通じた気候変動対策に貢献するものです。

今後、市況に応じて、本投資の積増しも検討しています。また、NZAM を通じて、機関投資家や個人投資家への浸透も図っていきます。

※1 GRESB（グレスビー）：旧名は Global Real Estate Sustainability Benchmark。不動産セクターの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る、世界基準の年次のベンチマーク評価。欧州の主要年金基金を中心に 2009 年に創設され、現在では欧米を中心にグローバルに機関投資家が参画しており、日本では NZAM が 3 社目の投資家メンバーとして加盟している。

※2 J-REIT（ジェイ・リート）：Japan-Real Estate Investment Trust の略で、投資家から集めた資金で、オフィスビルや商業施設、マンション、物流施設などの複数の不動産を購入し、その賃貸収入や売買益を投資家に分配する商品。一般の株式と同様に売買可能な金融商品で「不動産投資信託」とよばれている。

持続可能なエネルギー利活用への貢献

再生可能エネルギーの需要拡大を踏まえた 金融サービス提供

当金庫の再生可能エネルギーに関する取組みについては、プロジェクトファイナンス案件事例や、JAバンクの取組み（P20）をご参照ください。

世界各地で手がける プロジェクトファイナンス案件

投資ビジネスにおいて、プロジェクトファイナンスに本格的に取り組んでいます。貸出先の法人の信用度に応じて融資を行うコーポレートファイナンスとは異なり、プロジェクトファイナンスは特定の事業・プロジェクトを対象として、その採算性を評価したうえで融資を行います。

プロジェクトファイナンス事例

国内の再生可能エネルギー案件

太陽光案件に融資 融資金額：1,281 億円

日本国内における太陽光発電所案件に継続的にファイナンス対応しています。



水関連案件

淡水化や下水処理案件に融資 融資金額：1,107 億円

豪州や中東の水処理案件（発電・海水淡水化・下水処理等）にファイナンス対応しています。



海外の再生可能エネルギー案件

洋上風力案件中心に融資 融資金額：4,080 億円

英国・大陸欧州の洋上風力や海底送電線をはじめ、米国や中東における再生可能エネルギー案件にファイナンス対応しています。



融資金額は 2020 年 3 月末時点

誰も取り残さない金融の実現

多様なチャネルを通じた全国津々浦々での金融アクセス向上

当金庫では、責任ある金融を推進するため、誰も取り残さない金融の実現を目指しています。

移動店舗車の導入

過疎化が進む中山間地域においては、金融サービスの維持が課題となっており、JAバンクでは、金融窓口やATM(現金自動預払機)を搭載した移動店舗車の導入を全国のJAで進めています(2019年度末時点で、全国に92台配備)。

移動店舗車では、普通貯金の入出金や通帳の記帳などが可能です。また、振り込み、税金・公共料金の収納のほか、公的年金の受給や共済などの相談業務を行う場合もあり、金融機関の窓口やATMが近くにない地域では、もっとも身近な金融機関として認知が高まっています。

全国に配備された移動店舗車は、普段は農村・過疎地域のライフラインとして、有事には被災地への金融サービス提供手段として活用されます。



トピック

2019 年の台風被害の被災地で移動店舗車が窓口機能を提供

2019年の台風19号による浸水被害を受けたJAみやぎ仙南に、隣県のJAが所有する移動店舗車の災害派遣を実施しました。甚大な浸水被害を受けた丸森地区では、端末機器類も浸水により業務ができない状態に。さらには車の水没などにより遠くまで外出できない組合員への対応のため、JAやまがたおよびJA新いわてから移動店舗車派遣支援を受け、JA旧施設等管内9カ所を曜日ごとに巡回する金融窓口を臨時に設置。当座性入出金や税金の納付など、日常生活に必要な金融サービスを提供しました。

JAグループの仲間が、協同組合の相互扶助の精神に基づき、被災地復旧、利用者対応支援の手助けに取り組みました。



JA やまがたから JA みやぎ仙南に派遣された移動店舗車

JA バンクアプリの提供

JAバンクは、個人のお客さま向けにスマホアプリ「JAバンクアプリ」のサービスを提供しています。JAバンクアプリはJAバンクの口座残高や入出金明細をスマートフォンで確認することができます。JAバンクのキャッシュカードをもっているお客さまであれば、来店不要かつ簡単な初期登録のみで、すぐに利用を開始することが可能です。

このアプリにより、来店が難しい時や忙しい時にも、便利にJAバンクを利用することができます。

